

11:30受

様式0-1(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第19426報)

平成31年3月22日11時25分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー
 福島第一原子力発電所
 原子力防災管理者 磯貝 智彦
 連絡先 0240-30-9301

原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	平成23年3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要)</p> <p>第19357報でお知らせしたとおり、3号機原子炉格納容器ガス管理設備については、当該設備の放熱器の保全計画に基づく交換作業のため、本日10時02分に特定原子力施設に係る実施計画「Ⅲ 特定原子力施設の保安」第1編第3.2条第1項(保全作業を実施する場合)を適用し、作業を開始しました。</p> <p>当該作業の終了については、別途お知らせします。</p> <p>【公表区分：E】</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

※添付の有・無

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

1/2

15:56受

様式0-1 (1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第19427報)

<p style="text-align: right;">平成31年3月22日15時25分</p> <p>内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長, 殿</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">第25条報告</div> <div> <p>報告者名 東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー 福島第一原子力発電所 原子力防災管理者 磯貝 智彦</p> <p>連絡先 0240-30-9301</p> </div> </div> <p>原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。</p>	
原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	平成23年3月11日 16時36分 (24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要)</p> <p>第1299.3報他でお知らせした、地下貯水槽周辺の観測孔において全ベータ放射能が上昇した事象、及び第1327.4報他でお知らせした、地下貯水槽の南西側及び北東側の漏えい検知孔水において全ベータ放射能が上昇した事象について、下記のとおり水の分析を実施しましたので、お知らせします。</p> <p style="text-align: center;">・地下貯水槽 分析結果 [採取日 3月21日]</p> <p>今回の分析結果は、至近の分析結果と比較して有意な変動はありませんでした。</p> <p>引き続き、地下貯水槽周辺の監視を行うとともに、全ベータ放射能が上昇した原因を調査していきます。</p> <p style="text-align: center;">【公表区分：D続】</p> <p>※添付の有・無</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

2/2

2019年3月22日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

地下貯水槽 分析結果(2019年3月21日分)

地下貯水槽(ドレン孔水)												
	i		ii		iii		iv		v		vii	
	北東側	南西側	北東側	南西側	北東側	南西側	北東側	南西側	北西側	南東側	北西側	南東側
採取時刻												
全ベータ(Bq/L)			7:50	7:13	170	ND(21)						

地下貯水槽(漏えい検知孔水)												
	i		ii		iii		iv*		v*		vii*	
	北東側	南西側	北東側	南西側	北東側	南西側	北東側	南西側	北西側	南東側	北西側	南東側
採取時刻					7:24	6:55					※	※
全ベータ(Bq/L)			120,000	150,000								

(注)NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

*漏えい検知孔iv、v、viiは、採取対象としていない。

※水位不足により採取できず

1/2

15:56受

様式0-1(1/2)
(第194.28報)

応急措置の概要(原子炉施設)

平成31年3月22日15時25分
内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 磯貝 智彦
連絡先 0240-30-9301

原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	平成23年3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要)</p> <p>第8137報他でお知らせした、1号機放水路上流側立坑においてCs-137の濃度が上昇した事象、及び第10182報他でお知らせした、2号機放水路上流側立坑において全ベータ放射能及びトリチウム濃度が上昇した事象について、1号機及び2号機放水路上流側立坑水の分析を実施しましたので、以下のとおり報告します。</p> <p>・福島第一原子力発電所構内1号機、2号機放水路サンプリング結果 [採取日 3月20日]</p> <p>今回の分析結果については、至近の分析結果と比較して有意な変動はありませんでした。今後も監視を継続していきます。</p> <p>【公表区分: その他】</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

※添付の有・無

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。
(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。
(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。
(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

2/2

2019年3月22日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所構内1号機、2号機放水路サンプリング結果

単位:Bq/L

	1号機放水路立坑水		2号機放水路立坑水	
	上流側	下流側	上流側	下流側
採取日	3月20日	3月20日	3月20日	3月20日
採取時刻	8:13	7:52	8:04	7:55
Cs-134(約2年)	140	68	91	ND(7.1)
Cs-137(約30年)	1,900	800	1,200	43
全β	2,800	2,500	1,800	130
H-3(約12年)	300	350	130	220

* NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

1/10

15-56受

様式9-1(1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第19429報)

平成31年3月22日15時25分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 磯貝 智彦
連絡先 0240-30-9301

原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	平成23年3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項口) (対応日時, 対応の概要) プラント関連パラメータ、タンクエリアパトロール結果等について、下記の通りお知らせいたします。
発生事象と対応の概要(注2)	<ul style="list-style-type: none"> ・プラント関連パラメータ [3月22日11時00分現在] ・集中廃棄物処理施設周辺 サブドレン水核種分析結果 [採取日 3月21日] ・福島第一原子力発電所構内排水路分析結果 [採取日 3月20日、21日] ・福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果 護岸地下水 [採取日 3月18日、21日] ・福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果 海水 [採取日 2月11日、3月18日、21日] ・発電所敷地内におけるモニタリング結果について、前回のお知らせから有意な変動はありません。 ・タンクエリアパトロール及び汚染水タンク水位計による常時監視において、漏えい等の異常はありません。 ・建屋滞留水の移送状況について、パトロール及び警報監視において、漏えい等の異常は確認されません。 <p>地下水バイパス一時貯留タンクグループ2の当社及び第三者機関による分析結果については、共に運用目標値を満足していたことから、3月23日に排水を実施します。 排水開始・終了の実績については、別途お知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福島第一原子力発電所 地下水バイパス 一時貯留タンク分析結果 [採取日 3月15日] <p>【公表区分：その他】</p> <p>※添付の有・無</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

- (注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。
- (注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。
- (注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

2/10

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

2019年3月22日 11:00現在

【重要事項】
各種材料については、地震やその他の事故進展の形質を察して、通常の使用環境条件下に
格入しているものもあり、正しく判定されていない可能性のある材料も存在している。
プラントの状態を把握するために、このような計量の不確かなデータも考慮し、本表で、補修
の材料部から得られる情報を活用して系列の真面目な見直しに努めている。

	1号機	2号機	3号機	4号機
原子炉注水状況	給水系: 1.4 m/h CS系: 1.3 m/h (3/22 11:00 現在)	給水系: 1.3 m/h CS系: 1.5 m/h (3/22 11:00 現在)	給水系: 1.5 m/h CS系: 1.5 m/h (3/22 11:00 現在)	
原子炉圧力容器 内部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1): 150 °C 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1): 14.8 °C VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2): 14.8 °C (3/22 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3): 19.8 °C RPV温度 (TE-2-3-69R): 19.3 °C (3/22 11:00 現在)	スカーション上部温度 (TE-2-3-69F1): 18.7 °C RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1): 17.3 °C (3/22 11:00 現在)	
原子炉格納容器 内温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A): 15.1 °C HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F): 14.8 °C (3/22 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B): 20.7 °C SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2-16B (TE-16-114G#1): 20.1 °C (3/22 11:00 現在)	格納容器空機長り空気温度 (TE-16-114A): 18.7 °C 格納容器空機供給空気温度 (TE-16-114F#1): 16.9 °C (3/22 11:00 現在)	
原子炉格納容器 圧力	0.55 kPa.g (3/22 11:00 現在)	3.82 kPa.g (3/22 11:00 現在)	0.38 kPa.g (3/22 11:00 現在)	
蒸気封入流量 ※3	RPV (RVH): 13.83 Nm/h (JP-A): 14.75 Nm/h (JP-B): - Nm/h PCV: - Nm/h (3/22 11:00 現在)	RPV: 10.42 Nm/h PCV: - Nm/h (3/22 11:00 現在)	RPV: 17.20 Nm/h PCV: - Nm/h (3/22 11:00 現在)	※4
原子炉格納容器 ガス管理システム 排気流量	20.0 m/h (3/22 11:00 現在)	15.39 Nm/h (3/22 11:00 現在)	- Nm/h (3/22 11:00 現在)	※5
原子炉格納容器 水素濃度 ※1	A系: 0.00 vol% B系: 0.00 vol% (3/22 11:00 現在)	A系: 0.07 vol% B系: 0.06 vol% (3/22 11:00 現在)	A系: - vol% B系: - vol% (3/22 11:00 現在)	※5 ※5
原子炉格納容器 放射能濃度 (Xe135) ※2	A系: 指示値 1.21E-03 Ba/cm³ 検出限界値 3.90E-04 B系: 指示値 1.02E-03 Ba/cm³ 検出限界値 3.50E-04 (3/22 11:00 現在)	A系: 指示値 ND 検出限界値 1.5E-01 B系: 指示値 ND 検出限界値 1.4E-01 (3/22 11:00 現在)	A系: 指示値 - Ba/cm³ 検出限界値 - B系: 指示値 - Ba/cm³ 検出限界値 - (3/22 11:00 現在)	※5 ※5 ※5 ※5
使用済燃料プール 水温度	20.5 °C (3/22 11:00 現在)	20.8 °C (3/22 11:00 現在)	20.0 °C (3/22 11:00 現在)	15.5 °C (3/22 11:00 現在)
FPC 貯水タンク 水位	4.09 m (3/22 11:00 現在)	4.68 m (3/22 11:00 現在)	5.03 m (3/22 11:00 現在)	44.4 X100mm. (3/22 11:00 現在)

【注】
※1: 指示値が0.00vol%と表示する。(水素濃度が極めて低い場合は、計器精度によりマイナスイクス表示される場合があるため)
※2: 指示値が検出限界未満の場合にNDと表示する。原子炉格納容器ガス管理システムの放射能濃度 (Xe135) を監視する。
※3: 使用状態の流量。圧力で流量修正した値を記載する。
※4: 蒸気封入停止中
※5: 作業に伴い一時欠測

3/10

2019年3月22日

集中廃棄物処理施設周辺 サブドレン水抜種分析結果

I-131 (Bq/L)

Table with columns for measurement date (測定場所) and dates from 3/3 to 3/21. Rows 1-10 show I-131 concentration data for various locations.

Cs-134 (Bq/L)

Table with columns for measurement date (測定場所) and dates from 3/3 to 3/21. Rows 1-10 show Cs-134 concentration data for various locations.

Cs-137 (Bq/L)

Table with columns for measurement date (測定場所) and dates from 3/3 to 3/21. Rows 1-10 show Cs-137 concentration data for various locations.

※I-131はサンプリング、測定を省略しないことを示す。
※IIはIIが採取不可となつたため、地下水流の上流側として測定し、週1回程度の頻度で測定(2011/4/29~)
※IIIは地下水流の下流側であることから、追加で測定(2011/5/28~)
※IVは追加で測定(2011/5/30~)
※Vは追加で測定(2011/8/2~)
※VIは検出限界値未満を示し、() 内に検出限界値を示す。

- <測定箇所>
①4号7/8施設南東
②プロセセス主建屋北東
③プロセセス主建屋南東
④プロセセス主建屋南西
⑤焼固体系集物減容処理建屋南
⑥サイトハンガ建屋南西
⑦焼却工作建屋 西側
⑧焼固体系集物減容処理建屋北
⑨サイトハンガ建屋南東

4/10

2019年3月22日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所構内排水路分析結果

福島第一原子力発電所構内排水路分析結果

単位: Bq/L

採取日	A排水路										物揚場排水路									
	3月15日	3月16日	3月17日	3月18日	3月19日	3月20日	3月21日	3月15日	3月16日	3月17日	3月18日	3月19日	3月20日	3月21日						
採取時刻	8:00	7:45	7:45	8:05	8:30	7:35	7:55	7:40	7:40	7:40	8:10	8:25	7:40	8:00						
降雨量(mm/日)	0	0.5	0	0	0	0	0	0	0.5	0	0	0	0	0						
流量(m ³ /秒)	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中						
Cs-134(約2年)	ND(0.95)	0.70	ND(0.58)	ND(1.3)	ND(0.60)	ND(0.53)	ND(0.57)	ND(0.70)	ND(0.74)	ND(0.75)	ND(0.75)	ND(0.56)	ND(0.65)	ND(0.56)						
Cs-137(約30年)	4.6	4.9	5.9	6.9	6.0	6.0	6.1	1.3	1.1	1.3	1.2	1.5	1.2	0.92						
全β	12	11	14	16	15	16	16	4.4	3.7	ND(3.8)	3.5	4.1	4.7	ND(3.2)						
H-3(約12年)	-	-	-	-	-	ND(7.0)	-	-	-	-	-	-	10	-						

単位: Bq/L

採取日	K排水路										BC排水路									
	3月15日	3月16日	3月17日	3月18日	3月19日	3月20日	3月21日	3月15日	3月16日	3月17日	3月18日	3月19日	3月20日	3月21日						
採取時刻	6:00	6:00	6:00	6:00	6:00	6:00	6:00	6:00	6:00	6:00	6:00	6:00	6:00	6:00						
降雨量(mm/日)	0	0.5	0	0	0	0	0	0	0.5	0	0	0	0	0						
流量(m ³ /秒)	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中						
Cs-134(約2年)	ND(0.64)	0.61	ND(1.1)	0.62	ND(0.86)	ND(0.81)	ND(0.75)	ND(0.64)	ND(0.46)	ND(0.70)	ND(0.65)	ND(0.57)	ND(0.59)	ND(0.87)						
Cs-137(約30年)	6.9	6.8	5.5	5.6	5.0	6.1	5.2	ND(0.78)	ND(0.72)	ND(0.81)	ND(0.81)	ND(0.77)	ND(0.90)	ND(0.84)						
全β	13	7.6	11	8.8	10	12	7.8	ND(3.6)	ND(3.2)	ND(3.5)	ND(4.0)	ND(3.4)	ND(3.8)	ND(3.4)						
H-3(約12年)	-	-	-	-	-	120	-	-	-	-	-	-	ND(7.0)	-						

* 大枠内が今回公表データ。他は3月21日までにお知らせ済み。
* 測定対象外の項目は「-」と記す。
* NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

5/10

2019年3月22日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果(1/5)護岸地下水

		単位: Bq/L (塩素除く)														
		No.0-1	No.0-2	No.0-3-1	No.0-3-2	No.0-4	No.1	No.1-6	No.1-8	No.1-9(注)	No.1-11	No.1-12	No.1-14	No.1-16	No.1-17	
採取日																
採取時刻																
塩素(単位: ppm)																
Cs-134(約2年)																
Cs-137(約30年)																
その他																
γ																
全β																
H-3(約12年)																
Sr-90(約29年)																
採取日																
採取時刻																
塩素(単位: ppm)																
Cs-134(約2年)																
Cs-137(約30年)																
その他																
γ																
全β																
H-3(約12年)																
Sr-90(約29年)																

* 太枠内が今回公表データ。他は3月19日にお知らせ済み。
 * NDは検出限界値未満を表し、「その他γ」を除き()内に検出限界値を示す。
 * 測定対象外の項目は「-」と記す。また、「その他γ」は検出されたときに記す。
 (注) No.1-9, 2-5, 3-5は、採水器による採取であるため、γ測定は実施せず。全βは参考値としての過後に測定。

6/10

福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果(2/5)護岸地下水

単位: Bq/L (塩素除く)

	地下水観測孔 No.0-1	地下水観測孔 No.0-1-2	地下水観測孔 No.0-2	地下水観測孔 No.0-3-1	地下水観測孔 No.0-3-2	地下水観測孔 No.0-4	地下水観測孔 No.1	地下水観測孔 No.1-6	地下水観測孔 No.1-8	地下水観測孔 No.1-g(9)	地下水観測孔 No.1-11	地下水観測孔 No.1-12	地下水観測孔 No.1-14	地下水観測孔 No.1-16	地下水観測孔 No.1-17
採取日	3月21日														
採取時刻	7:15														
塩素(単位: ppm)	—														
Cs-134(約2年)	ND(0.24)														
Cs-137(約30年)	ND(0.38)														
その他	—														
γ	—														
全β	52														
H-3(約12年)	分析中														
Sr-90(約29年)	—														

	1,2号機 ウエル水 及び上げ水	地下水観測孔 No.2	地下水観測孔 No.2-2	地下水観測孔 No.2-3	地下水観測孔 No.2-5(4)	地下水観測孔 No.2-6	地下水観測孔 No.2-7	地下水観測孔 No.2-8	2,3号機 ウエル水 及び上げ水	地下水観測孔 No.3	地下水観測孔 No.3-2	地下水観測孔 No.3-3	地下水観測孔 No.3-4	地下水観測孔 No.3-5(4)	3,4号機 ウエル水 及び上げ水	
採取日	3月21日															
採取時刻	7:27															
塩素(単位: ppm)	—															
Cs-134(約2年)	ND(0.29)															
Cs-137(約30年)	0.46															
その他	—															
γ	—															
全β	370															
H-3(約12年)	分析中															
Sr-90(約29年)	—															

* NDは検出限界値未満を表し、「その他γ」を除き()内に検出限界値を示す。
 * 測定対象外の項目は「—」と記す。また、「その他γ」は検出されたときに記す。
 (注) No.1-9, 2-5, 3-5は、採水器による採取であるため、γ測定は実施せず。全βは参考値として過後に測定。

7/10

福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果(3/5)海水

単位: Bq/L

採取日	福島第一5.6号機放水口北側(T-1)	福島第一6号機取水口前	福島第一物揚塔前	福島第一1~4号機取水口内北側(東浜線北側)	福島第一1号機取水口(遮水壁前)	福島第一1~4号機取水口内南側(遮水壁前)	福島第一南放水口付近(T-2)	福島第一港湾口	福島第一港湾内東側	※告示濃度限度	WHO飲料水水質ガイドライン
採取時刻		2月11日 7:30	2月11日 7:10	2月11日 7:15	2月11日 7:15	2月11日 7:15	2月11日 7:20	2月11日 7:20			
Cs-134 (約2年)		ND(0.52)	ND(0.45)	ND(0.53)	ND(0.53)	ND(0.53)	ND(0.52)	ND(0.52)		60	10
Cs-137 (約30年)		0.95	5.1	4.8	4.8	4.8	ND(0.57)	ND(0.57)		90	10
全β		ND(18)	ND(18)	ND(18)	ND(18)	ND(18)	ND(16)	ND(16)			
H-3 (約12年)		ND(1.6)	24	38	38	38	ND(1.6)	ND(1.6)		60,000	10,000
Sr-90 (約29年)		0.017	0.56	0.54	0.54	0.54	ND(0.0033)	ND(0.0033)		30	10

単位: Bq/L

採取日	福島第一港湾内西側	福島第一港湾内北側	福島第一港湾内南側	福島第一北防波堤北側(T-0-1)	福島第一北東側(T-0-1A)	福島第一港湾口東側(T-0-2)	福島第一港湾口南東側(T-0-3A)	福島第一南防波堤南側(T-0-3)	※告示濃度限度	WHO飲料水水質ガイドライン
採取時刻	2月11日 7:28	2月11日 7:00	2月11日 7:00							
Cs-134 (約2年)	ND(0.25)	ND(0.49)	ND(0.49)						60	10
Cs-137 (約30年)	0.92	1.1	1.1						90	10
全β	23	16	16							
H-3 (約12年)	ND(1.8)	ND(1.6)	ND(1.6)						60,000	10,000
Sr-90 (約29年)	0.010	ND(0.15)	ND(0.15)						30	10

* 本枠内が今回公表データ。他は2月12日、15日、19日にお知らせ済み。

* NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

* 測定対象外の項目は「-」と記す。

※ 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度
(別表第1第六欄:周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])

8/10

福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果(4/5)海水

		福島第一 5,6号機 放水口北側 (T-1)	福島第一 6号機 取水口前	福島第一 物掃場前	福島第一 1~4号機 取水口内北側 (東波除堤北側)	福島第一 1号機 取水口 (遮水壁前)	福島第一 1~4号機 取水口内南側 (遮水壁前)	福島第一 南放水口 付近 (T-2)	福島第一 港湾口	福島第一 港湾内 東側	※ 告示濃度 限度	WHO飲料水 水質ガイドライン
採取日	3月18日	3月18日	3月18日	3月18日	3月18日	3月18日	3月18日	3月18日				
採取時刻	8:06	8:21	7:46	7:23	7:39	7:28	6:45					
Cs-134 (約2年)	ND(0.58)	ND(0.54)	ND(0.51)	ND(0.60)	0.58	ND(0.65)	ND(0.83)				60	10
Cs-137 (約30年)	ND(0.57)	ND(0.51)	0.88	6.8	6.6	7.6	ND(0.75)				90	10
全β	9.2	ND(14)	ND(14)	ND(14)	21	18	12					
H-3 (約12年)	ND(0.91)	ND(2.2)	ND(1.6)	15	11	19	ND(0.91)				60,000	10,000
Sr-90 (約29年)	—	—	分析中	分析中	—	分析中	—				30	10

		福島第一 港湾内 西側	福島第一 港湾内 北側	福島第一 港湾内 南側	福島第一 港湾中央	福島第一 北防波堤 北側 (T-0-1)	福島第一 港湾口 北東側 (T-0-1A)	福島第一 港湾口 東側 (T-0-2)	福島第一 港湾口 南東側 (T-0-3A)	福島第一 南防波堤 南側 (T-0-3)	※ 告示濃度 限度	WHO飲料水 水質ガイドライン
採取日												
採取時刻												
Cs-134 (約2年)											60	10
Cs-137 (約30年)											90	10
全β												
H-3 (約12年)											60,000	10,000
Sr-90 (約29年)											30	10

* 本枠内が今回公表予一タ。他は3月19日にお知らせ済み。

* NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

* 測定対象外の項目は「-」と記す。

※ 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度
(別表第1第六欄:周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])

9/10

福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果(5/5)海水

単位: Bq/L

採取日	福島第一 5.6号機 放水口北側 (T-1)	福島第一 6号機 取水口前	福島第一 物揚場前	福島第一 1~4号機 取水口内北側 (東防波堤北側)	福島第一 1号機 取水口 (遮水壁前)	福島第一 1~4号機 取水口内南側 (遮水壁前)	福島第一 南放水口 付近 (T-2)	福島第一 港湾口	福島第一 港湾内 東側	※ 告示濃度 限度	WHO飲料水 水質ガイドライン
採取日	3月21日	3月21日	3月21日	3月21日	3月21日	3月21日	3月21日	3月21日	3月21日		
採取時刻	8:15	7:50	7:24	7:43	7:27	6:58	6:40	6:38			
Cs-134 (約2年)	ND(0.62)	ND(0.57)	ND(0.87)	ND(0.66)	ND(0.60)	ND(0.70)	ND(0.57)	ND(0.26)	60	10	
Cs-137 (約30年)	1.6	0.91	5.4	5.5	5.8	ND(0.80)	1.2	1.5	90	10	
全β	ND(15)	ND(15)	17	24	16	11	ND(16)	ND(18)			
H-3 (約12年)											
Sr-90 (約29年)											
										60,000	10,000
										30	10

単位: Bq/L

採取日	福島第一 港湾内 西側	福島第一 港湾内 北側	福島第一 港湾内 南側	福島第一 港湾中央	福島第一 北防波堤 北側 (T-0-1)	福島第一 港湾口 北東側 (T-0-1A)	福島第一 港湾口 東側 (T-0-2)	福島第一 港湾口 南東側 (T-0-3A)	福島第一 南防波堤 南側 (T-0-3)	※ 告示濃度 限度	WHO飲料水 水質ガイドライン
採取日	3月21日	3月21日	3月21日	3月21日	3月21日	3月21日	3月21日	3月21日	3月21日		
採取時刻	6:36	6:34	6:42	7:20							
Cs-134 (約2年)	ND(0.31)	ND(0.28)	ND(0.20)	ND(0.56)						60	10
Cs-137 (約30年)	1.5	0.94	0.37	0.92						90	10
全β	ND(18)	ND(18)	ND(18)	ND(16)							
H-3 (約12年)											
Sr-90 (約29年)											
										60,000	10,000
										30	10

* NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。
* 測定対象外の項目は「-」と記す。

※ 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度
(別表第1第六欄:周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])

10/10

2019年3月22日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所 地下水バイパス 一時貯留タンク分析結果

単位: Bq/L

Gr2.(グループ2)		運用目標	※1 告示濃度 限度	WHO飲料水 水質ガイドライン
探取日	東京電力 2019年3月15日	第三者機関 2019年3月15日		
探取時刻	7:34	7:34		
貯水量 [m ³]	2,270	2,270		
セシウム134	ND(0.71)	ND(0.49)	60	10
セシウム137	ND(0.71)	ND(0.50)	90	10
その他ガンマ核種	検出なし	検出なし		
全ベータ	ND(0.77)	ND(0.51)		
トリチウム	110	120	1,500	10,000

* 第三者機関: 日本分析センター

* NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

(注) 運用目標の全ベータについては、10日に1回程度の分析では、検出限界値を1 Bq/Lに下げて実施。

※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度
(別表第1第六欄: 周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])

※2 セシウム134, セシウム137の検出限界値「1 Bq/L未満」を確認する測定にて検出されないこと(天然核種を除く)。

15:56受

様式0-1(1/2)
(第19430報)

応急措置の概要 (原子炉施設)

平成31年 3月22日 15時25分	
内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿	
第25条報告	報告者名 東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー 福島第一原子力発電所 原子力防災管理者 磯貝 智彦 連絡先 0240-30-9301
原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。	
原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	平成23年3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	(対応日時, 対応の概要) 1号機使用済燃料プール(以下、「SFP」という。)循環冷却系については、電源切替盤の新設作業のため、下記期間、当該設備の運転を停止します。 ○3月24日 16時 ~ 3月28日 20時 ・本日5時現在のSFP水温度は、20.3℃であり、放熱を考慮し、停止期間終了時点で約21.4℃と評価しております。 実績については、別途お知らせします。 【公表区分：E】
	※添付の有(無)
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

15:56受

1/2

様式0-1(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第19431報)

平成31年3月22日15時25分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 磯貝 智彦
連絡先 0240-30-9301

原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	平成23年3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時; 対応の概要)</p> <p>1~3号機原子炉注水設備において、燃料デブリの冷却状況の実態を把握のため2号機燃料デブリ冷却性確認試験(STEP1)として原子炉注水量を低減・増加する試験に関連し、3月25日から4月16日の期間、下記の予定で原子炉注水量の変更を行います。</p> <p>なお、1~3号機原子炉注水設備全体のバランス調整のため、1号機および3号機の原子炉注水量の変更もを行います。</p> <p><原子炉注水量変更予定></p> <p>(3月25日)</p> <p>1号機 給水系原子炉注水量 : 1. 5m³/h → 2. 0m³/h 1号機 炉心スプレイ系原子炉注水量 : 1. 5m³/h 3号機 給水系原子炉注水量 : 1. 5m³/h 3号機 炉心スプレイ系原子炉注水量 : 1. 5m³/h → 2. 0m³/h</p> <p>(3月26日)</p> <p>1号機 給水系原子炉注水量 : 2. 0m³/h → 2. 5m³/h 1号機 炉心スプレイ系原子炉注水量 : 1. 5m³/h 3号機 給水系原子炉注水量 : 1. 5m³/h 3号機 炉心スプレイ系原子炉注水量 : 2. 0m³/h → 2. 5m³/h</p> <p>(3月27日)</p> <p>1号機 給水系原子炉注水量 : 2. 5m³/h 1号機 炉心スプレイ系原子炉注水量 : 1. 5m³/h → 2. 0m³/h 3号機 給水系原子炉注水量 : 1. 5m³/h → 2. 0m³/h 3号機 炉心スプレイ系原子炉注水量 : 2. 5m³/h</p> <p>(3月29日)</p> <p>2号機 給水系原子炉注水量 : 1. 5m³/h → 0m³/h 2号機 炉心スプレイ系原子炉注水量 : 1. 5m³/h → 3. 0m³/h</p> <p>(4月2日) 原子炉注水量低減試験開始</p> <p>2号機 給水系原子炉注水量 : 0m³/h 2号機 炉心スプレイ系原子炉注水量 : 3. 0m³/h → 1. 5m³/h</p>

2/2

	<p>(4月9日) 原子炉注水量増加試験開始 2号機 給水系原子炉注水量 : 0 m³/h 2号機 炉心スプレイ系原子炉注水量 : 1.5 m³/h → 3.0 m³/h (4月12日) 1号機 給水系原子炉注水量 : 2.5 m³/h 1号機 炉心スプレイ系原子炉注水量 : 2.0 m³/h → 1.5 m³/h 3号機 給水系原子炉注水量 : 2.0 m³/h → 1.5 m³/h 3号機 炉心スプレイ系原子炉注水量 : 2.5 m³/h (4月15日) 1号機 給水系原子炉注水量 : 2.5 m³/h → 2.0 m³/h 1号機 炉心スプレイ系原子炉注水量 : 1.5 m³/h 3号機 給水系原子炉注水量 : 1.5 m³/h 3号機 炉心スプレイ系原子炉注水量 : 2.5 m³/h → 2.0 m³/h (4月16日) 1号機 給水系原子炉注水量 : 2.0 m³/h → 1.5 m³/h 1号機 炉心スプレイ系原子炉注水量 : 1.5 m³/h 2号機 給水系原子炉注水量 : 0 m³/h → 1.5 m³/h 2号機 炉心スプレイ系原子炉注水量 : 3.0 m³/h → 1.5 m³/h 3号機 給水系原子炉注水量 : 1.5 m³/h 3号機 炉心スプレイ系原子炉注水量 : 2.0 m³/h → 1.5 m³/h</p> <p>なお、4月9日に実施する原子炉注水量増加に際しては、特定原子力施設に係る実施計画に定める運転上の制限「任意の2-4時間あたりの注水量増加幅 1.0 m³/h以下」に対し、特定原子力施設に係る実施計画「Ⅲ 特定原子力施設の保安」第1編第32条（保全作業を実施する場合）第1項を適用し、必要な安全措置を定めた上で、計画的に運転上の制限外に移行する操作を実施します。</p> <p><背景と目的> 現在、1～3号機の原子炉内には安定的に注水を継続していますが、燃料デブリの崩壊熱は時間とともに大幅に減少しています。 一方で、原子炉内への注水が停止した場合の温度変化の評価にあたっては、実際には生じている気中への自然放熱による温度低下等は考慮せず、燃料デブリの崩壊熱のみを考慮して計算している状況です。 このような状況を踏まえ、燃料デブリの冷却状況の実態を把握し、気中への放熱も考慮したより実態に近い温度変化の評価（熱バランス評価）の正確さを確認するため、原子炉注水の低減・増加を一時的に行う試験を行うものです。 本試験を通じ、現在運用している評価よりも、より実態に即して大幅に落ち着いている状況が確認でき、熱バランス評価を適用できれば、緊急時対応手順の適正化や運転・保守管理上の改善につなげることが可能になります。</p> <p>【公表区分：E】</p> <p>※添付の有・無</p>
<p>その他の事項の対応 (注3)</p>	<p>なし</p>

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。
 (注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。
 (注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。
 (注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

17:56受

様式0-1(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第19432報)

平成31年 3月22日 17時45分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 磯貝 智彦
連絡先 0240-30-9301

原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	平成23年3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	(対応日時, 対応の概要) 第19357報他でお知らせしたとおり、3号機原子炉格納容器ガス管理設備については、特定原子力施設に係る実施計画「Ⅲ 特定原子力施設の保安」(以下、「実施計画」という)第1編第32条第1項(保全作業を実施する場合)を適用し作業を実施しておりましたが、作業が終了したことから16時25分に当該設備をインサービスしました。 その後、当該設備の動作確認において異常が無いこと、及び短半減期核種モニタの指示値に有意な変動がないことから、17時10分に実施計画第1編第32条第1項(保全作業を実施する場合)の適用を解除しました。 なお、当該設備の停止期間における関連監視パラメータについては、異常ありませんでした。 【公表区分:E】
※添付の有(無)	(無)
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。